

宇都宮が変貌します

10月1日から11日まで、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」および第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が、宇都宮をメイン会場として開催されています。

その宇都宮で計画され、建設が進んでいる路面電車 宇都宮ライトレール(LRT:愛称ライトライン)の開業は当初の2022年春開業予定から延期となっていました。正式に2023年の8月に開業となることが決まりました。

この路面電車は宇都宮駅東口を出発駅として、当社の工場が立地する清原工業団地を縦断して芳賀工業団地を終着駅とする14.6kmの区間を営業します。

そのうち9.4kmが自動車と道路を共有する併用軌道区間で、そのうち5.1kmが鉄道の専用軌道区間で、基線路線などでは無い、新規建設のLRTとしては日本で初事例です。また、速度も軌道法では時速40kmまでと定められていますが、将来的には特認を得て、専用軌道で区間は70kmで走行を計画しているそうです。

路面電車は通常平地を走行しますが、このライトラインは最大勾配60パーミルを走ります。碓氷峠が66パーミルですから、かなりきつい勾配と言えます。

車両は67パーミルまで対応していますが、これは宇都宮駅の西側へ延伸するに当たり、JR線乗り越す事を想定しているからです。ますます、宇都宮が便利になりそうです。

さて、先ずは先行する宇都宮東側ですが、当社清原工場へのアクセスも従来のタクシー移動から格段に改善します。

最寄駅となるグリーンスタジアム前までの所要時間は宇都宮駅から鬼怒川を渡り約20分。降車後グリーンスタジアム正門を右折し徒歩10分で工場に到着します。

清原工業団地は小高い山の上に立地し、国内の内陸工業団地としては全国一の面積を誇っています。そのため、工業団地内移動手段としては、路面電車に合わせて工業団地内を循環するバスの運行が予定されています。

